

# イロドルキワク

敷地は大きなケヤキの葉が茂り、親密感のあるグランモール公園。横浜美術館とマークイズの間に位置し、休日には多くの家族連れが訪れ一休みする憩いの場となっている。私たちは、この空間がより多彩が使われ方をされるよう、用途に応じて大きさや配置を変えることのできる木のフレームをモジュールとしたストリートファニチャーを提案する。

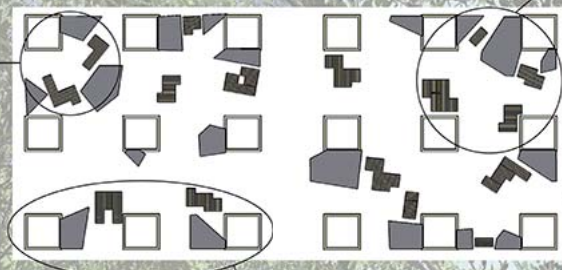


県産材を用いたフレームをモジュールとし、5種類のユニットを作成する。各ユニットは同じ高さに取り付けられた横材によって連結される。

ベンチとしての使用に加え、緑化フェアでのフラワーアレンジメントの作品展示や掲示板、オープンカフェのテーブル席等、用途に応じた使い方ができる。



複数のベンチを共有するように配置することで、異なるグループが同時に使用することができる。



既存のベンチから独立して置いた置場合はイベント時の展示什器や子供達の遊び場としても機能する。



一つのベンチと対になるように配置するとプライベートな性格が強まり、カップルでの使用やオープンカフェのテーブル席としての使用に適した空間となる。

